

2017/Aug.



はろー・まゐと

HELLO MATE

JAPAN-AUSTRALIA SOCIETY OF OSAKA

発行：大阪日豪協会

発行責任者：富田 勇一
〒541-0048
大阪市中央区瓦町3-3-10
ニッケビル11F
TEL・FAX：06-6205-6618
nichigo@herb.ocn.ne.jp
<http://osakanichigo.com/>

A message for Japan Australia Society of Osaka's "Hello Mate"

It is a great honor to contribute to the "Hello Mate" newsletter of the Japan-Australia Society of Osaka. I would like to express my appreciation for your support for Japan-Australia relations to the Chairman Mr Yuichi Tomita together with your dedicated members.

I arrived as Australian Ambassador to Japan in February, at a time when the bond between Australia and Japan is stronger than ever. For Australia, our strategic partnership with Japan is our closest and most mature in Asia, and is fundamentally important to both countries' strategic and economic interests. The pace and depth of high-level engagement indicates the importance of the relationship to both countries. Our Prime Ministers conduct annual reciprocal visits and the Foreign and Defence Ministers' dialogue (2+2) is well established.



Our trade and economic relations are also strong. As the third largest economy in the world, Japan is Australia's second largest export market and source of foreign investment. The challenges that the global trade system faces makes close and effective cooperation between Australia and Japan more important than ever.

This year marks the 60th anniversary of the Australia-Japan Agreement on Commerce. On this occasion, the Hon Steven Ciobo MP visited Japan to confirm the current progress of the implementation of the Japan-Australia Economic Partnership Agreement (EPA). Australia is the only major agricultural exporter to have a Free Trade Agreement with Japan and consumers on both sides are enjoying the benefits of this landmark agreement.

Australia-Japan relations have not only been supported by governments and businesses but also by strong grass-root exchanges. Friendship is born from interactions between peoples and their cultures. I am very pleased that active exchange activities between Australia and Japan have been continuing through organisations like yours. I am grateful for your continuing efforts and strong commitment to promoting people-to-people and cultural exchanges between Australia and Japan.

I wish your Society continued success and development in the coming year.

Richard Court
Australian Ambassador to Japan

ニッケグループは
人と地球に「やさしく、あったかい」
企業グループを目指しています。



<http://www.nikke.co.jp>

大阪日豪協会 第23回定期総会

2017年7月21日(金) 17時より帝国ホテル大阪4階「牡丹の間」におきまして、大阪日豪協会第23回定期総会が開催されました。

会則に基づき、富田会長が議長に選出され次の通り、議事が進められました。

1. 報告

- (1) 2016年度事業報告
- (2) 2016年度決算報告
- (3) 2016年度監査報告

2. 議案

- (1) 2017年度事業計画の件
- (2) 2017年度収支予算の件
- (3) 会則一部改正の件
- (4) 2017年度/2018年度役員改選の件

以上の報告・議案説明のあと採決に入り、全報告・議案ともに満場一致で承認・可決されました。

今回は2008年以来9年ぶりとなる会則の一部改正を行い、理事と評議員の区分をなくして理事に一本化することを決議しました。又、役員改選議案では新任役員3名を含む新たな役員が選出されました。

来賓としては、レイモンド・ローチェ駐大阪オーストラリア領事、総会後の記念講演の講師をお願いした小西酒造株式会社 小西社長、落合総領事秘書の3名をお招きし、議事終了後、レイモンド・ローチェ領事にご挨拶をいただきました。

全体の進行としてはほぼスケジュール通りで進み、スムーズな議事進行の中にも大変盛り上がりのある定期総会となりました。



第23回定期総会 一講演会一

「【豪酒】は【日本酒】か【清酒】か」

小西酒造株式会社は、1550年に創業。15代目社長、小西新太郎氏の講演は、467年の歴史を有するだけに、重みと興味溢れる語り口に、約100名近い聴衆は聞き惚れました。何と、最初に聴衆者全員に豪州で作られたお酒が、TASTING用として、無料で提供されました。出席者は、驚きましたが、外は蒸し暑い天候、不快指数は高い中、小西社長は「冷えていますので、温かにならない内に、試飲して頂いて結構です」との講演会の最初に、粋な計らいを頂き感激した聴衆も多かったのではないのでしょうか。

早速に感想を聞いて見ました。「飲み易い」「スキットしている」との感想でした。その味を脳裏に1時間余り、聞く「オーストラリアでの初めてのお酒造りとその後の展開」についての講演は、興味深く、迫力満点の内容でした。生の情報を経験者からお聞きする「豪酒」は「豪州」と相俟って日本最古の清酒銘柄「白雪」への愛着も増したと確信します。

- ①清酒製造へのチャレンジは、生産地選びからです。米を文化とする国が候補となりました。しかしながら、タイの水問題、中国は基本インフラが未整備から、豪州に向いました。
- ②豪州には、米のパイオニアである高須賀氏がおられ彼の協力を得られる事になりました。つまり、明治38年、松山の篤農家 高須賀穰氏が日本のコメ種子を持ち込み、稲作を開始していたのです。ビクトリア州 Swan Hill で1906年に高須賀穰氏が 豪州で初めて米作りを始め、ニューサウスウェールズ州 Leetonでも米の産地となりました。
- ③1996年の豪州での会社設立以来、豪州産の米、AMAROO 及びREIZIQのみで 酒造りを継続して来ました。2008年の史上最悪の干ばつでも供給を受けることができたのは画期的であります。
- ④原料米事情には豪州独特・特有な内容があり、興味深いです。例えば、水、気候風土に関して、驚くべき事ですが、陸稲の驚きは、水量レベル合わせ、飛行機による種まき、をする事です。

オーストラリア女流画家 ジョアン・フック日本総代理店

ランデヴーギャラリー・カフェ・教室

営業時間：11時～18時(月曜予約制)

株式会社 アークコーポレーション

〒602-8158 京都市上京区下立売通智恵光院西入一筋目下
代表取締役 山中 満子 Tel 075-821-7200
Email: infoark@kk-ark.jp http://www.kk-ark.jp

Spring Art Bank http://www.springartbank.com

オーストラリア他、世界の羊毛原料輸入商社

株式会社 アトムズ

顧問 岡本安裕

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町2-13
Tel 06-6943-7727 Fax 06-6944-0323

日本では考えられない手法です。その他にも輸作の知恵及び低農薬などがあります。

- ⑤現地残留の日本人のお酒造りへの熱意をベースに、5社で Sun Masamune Pty.,LTDは豪州に誕生しました。
- ⑥原料米の生産者団体であるライスgrowerとの友好関係を樹立させ、お米の供給だけでなく経営にも関与して貰っています。
- ⑦色々な経営難問にも直面しましたが、その内容は、生産品目が、ワインともビールとも違う清酒である事とその企業設立の難しさであります。
- ⑧サンマサムネ社のマーケティングは、現地マーケットの開拓 RTD 「ready to drink」をベースにして、炭酸系飲料（スピリッツがベースのRTD）無濾過生原酒・オーク樽熟成清酒及びGo-Shu Plum Wine等で始めました。勿論、第三国、バヌアツ、モーリシャス、等への輸出もしております。同時に、副産物であります米糠も利用して、関連製品を販売しております。
- ⑨豪州はクラフトビール先進国でもあり、楽しいビールの宝庫ですので、ビールにも目を向けて新たなチャレンジとして、豪州のクラフトビールの輸入を、オーストラリアン・ブルワリーから開始しております。

Summer Night Partyでは、Australian Breweryのビールを頂きながら、豪州の「豪酒」とホップにも拘った「豪ビール」の話は、尽きないほど、講演会に感動を覚えたのは、筆者の私だけでしょうか。

講演会の題目について、「清酒」としか言えないと、お聞きしました。背景は、外国産の清酒との区別を明確にする為、国産米や国内の水を使って国内で醸造された清酒だけを「日本酒」として販売している事の様です。注：平成27年12月に国税庁は「地理的表示「日本酒」指定について」に記載されています。（文責：坂本章理事）



第27回 サマーナイトパーティー

平成29年7月21日（金）19：00より帝国ホテル大阪『八重の間』にて第27回大阪日豪協会サマーナイトパーティーを開催致しました。

100名以上に参加頂き、富田会長の主催者挨拶、続いて在大阪オーストラリア総領事館 レイモンド・ローチェ領事に乾杯の音頭をお願い致しました。

ルークナイトカルテットによる素晴らしいジャズ演奏では会場が一体となり拍手や手拍子で楽しいひとときを過ごしました。大抽選会（とるぞう）では、帝国ホテル大阪・ウェスティンホテル大阪のディナー券やアルファロメオの折り畳み自転車など提供頂きました豪華景品が当選する度会場から大きな歓声があがりました。終盤にはキムラタクヤさんの伴奏と司会の出野理事の歌声で、全員が輪になって会場いっぱい何周もして、笑顔満開の明るく楽しいパーティーを締めくくりました。

今回も多くの協賛品をご提供頂きました皆様に厚く御礼を申し上げます。（PR部会）



THE WESTIN

OSAKA

代表取締役社長 森田 雅実

ウェスティンホテル大阪

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番20号 TEL.06-6440-1111(代表)
www.westin-osaka.co.jp



帝国ホテル
大阪

〒530-0042
大阪市北区天満橋1-8-50

取締役 幸田 雅弘
常務執行役員
総支配人

Tel. 06-6881-1111(代表)
Fax. 06-6881-4111
http://www.imperialhotel.co.jp

駐大阪オーストラリア総領事館
ローチェ領事のご紹介

前号（1月号）でローソン総領事を皆様にご紹介
させていただきましたので、8月号ではローチェ領事
のご紹介をさせていただきます。

大阪日豪協会の皆様、
こんにちは。駐大阪オー
ストラリア領事のレイモ
ンド・ローチェです。



私が大阪のオーストラ
リア総領事館に着任した
のは今年の4月ですので、
すでにお会いしている会
員の方々もいらっしゃる
と思います。

私はシドニー出身ですが、日本へは大学卒業後20
04年から2年間、JET（The Japan Exchange
and Teaching）プログラムの国際交流員としてや
ってきました。

このプログラムへの参加を決めたきっかけは、私
の家族構成でした。私はオーストラリア人の父と日
本人の母との間に生まれ、オーストラリアで育った
ので、幼いころから日本の文化や歴史を勉強したい
という思いを抱いてきました。日本語の勉強にとど
まらず、自分のルーツについて知りたいという気持
ちが強かったのです。

この2年間日本で仕事をする中で、日本人の人は
集中して仕事に打ち込み、よく働くという印象を強
く受けました。そんな環境の中で働くうちに、自分
の中で「日本での仕事の基準」ができたように思ひ
ます。日本人の仕事に対する高い意識がプロフェシ
ョナル精神を育てるのだと思います。

現在、日本は対豪投資のパートナーとしてアメリ
カに次ぐ相手国としてオーストラリアの経済成長に
とってとても大きな存在です。日本で学んだ勤勉さ
とプロフェショナル精神をもって、大阪の領事とし
て両国の関係をより強くするための仕事をしたいと
思っております。大阪日豪協会の皆様と共に、日豪
両国の親善と発展に取り組む機会を楽しみにしてい
ます。どうぞよろしくお願ひいたします。

ー・イベントレポートー
海津大崎お花見ツアー

春の楽しみとして、誰もが毎年心待ちにする桜の
花見…。4月15日（土）滋賀県高島市・琵琶湖の
北西部に位置する海津大崎で桜ツアーを開催いたし
ました。

さて、先日4月15日（土）朝早くに大阪駅から
JR敦賀行きでマキノ駅へ向かいました。
お花見シーズンの為か、電車の中もマキノ駅もかな
りの人で混雑していました。

駅を降りると、桜は…ほぼ満開！
毎年開花時期が若干変わるので心配していた桜も、
ちょうど見頃でホッと一安心しました。

お陰さまで、予定どおり屋形船（大井丸）さんの
送迎バスに乗り込み、船着場まで移動。およそ約10
分で到着！

雨はシトシト降っておりましたが、大井丸はしっか
りとした屋形船で安心して乗船できました。雨が降
る湖上から眺められる桜並木はとても趣があり、一
味違う美しさでした。

船の中では大井丸さんにご用意くださった豪華な
お花見弁当と花見酒をいただきながらゆったりとし
た時間を過ごし、みなさんの笑顔とお話にも花が咲
きました。（文化交流部）



追手門学院大学 オーストラリア・アジア研究所
The Center for Australian and Asian Studies, Otomon Gakuin University



〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
2-1-15 Nishiai, Ibaraki, Osaka 567-8502, Japan
Tel: +81-72-641-9667 / Fax: +81-72-643-9476
E-mail: cas@office.otemon.ac.jp

ハンバーグレストラン
びっくりドンキー



株式会社元廣 MOTOHIRO

〒612-8473 京都市伏見区下鳥羽広長町162番地
TEL 075-611-2195(代) FAX 075-612-0976
URL www.motohiro.co.jp/

ー・イベントレポート・ー

第89回ハローマイト懇話会

「健康方のちょっといい話」

日時：2017年5月26日

場所：大手門学院大学梅田サテライト校

今回、すべての人に関係するテーマである健康について、主要ポイント・データ実例・簡易な運動実演などを交えながら市立奈良病院の総合診療科・糖尿病内科の岸 純一郎先生より、ご講演を頂きました。

健康維持の主要ポイントは正しい理解・実践を伴った食生活と運動習慣である。ということですが、まず男性と女性で体重増加の傾向に違いがあり、男性は30代が幸せ太りも含め、大きなポイントとなりその後の急激な増加は少ないが、女性は出産・更年期等が増加のポイントであり、その後も長い目で見なければわからない点があるということ。

男性は30代で3割が肥満・女性は徐々に増加し、60代で3割という傾向がある。

また、別の観点から、健康に部分的に効果的でも、別の部分で致命傷になることもあり、普段から自分の体の状態について全体的に把握しておくことが非常に大切である事がよくわかりました。

食生活が大切であることは、間違いないが運動習慣の大切さにもっと目を向けることも肝要であり、そのポイントについてご教授を頂きました。

1. 「食べたら動け」ではなくて「動いたら食べる」の方がいい。
2. 日常生活でこまめに身体を動かすこと。
(運動しない場合と比べ7倍の差あり)
3. 運動で脂肪を落とし、脂質の代謝改善・血圧の下げ・糖の代謝改善・肥満防止・アディポネクチンの増加。
4. 各種運動で消費するエネルギーを把握し、自分に適するものの選択を行うこと。
5. 運動としての歩行の理想像の紹介
6. 医学的にダイエットで大切なことは、脂肪を落とすことで、筋肉や骨を壊す減量はダメ。
カロリーを消費する・食事法に頼り過ぎないなどが大切である。
7. 以上のことから普段日常生活の中で消費されるエネルギー量を増やせばメタボや糖尿病は減らせる。

自分で少し負荷のかかる程度の運動を継続する事が大切で、やり過ぎもいけないとの事でした。

また、教室内で正しい歩き方のフォームやスクワットなどを実際に行いなごやかな雰囲気も醸し出していました。夫婦仲の良い人、独身の人、各立場でお話を理解し、重要であるが、なごやかに拝聴出来たことが良かったです。特に私自身、大変参考になるお話でありがたかったです。

講演終了後は、同校の一つ上の階の里山にて、懇親会が飲み放題かつバイキング形式にてとり行われました。事前の講演会が功を奏したのか食べ物を選ぶ時に少し考えて選んでいたメンバーも中にはおられました。
(文責：上田博茂理事)



新企画・リレー随筆

2017年度から新しい企画として「リレー随筆」を広報部会として取り上げて行きます。

目的は会員間の相互交流及び草の根交流をHELLO MATE紙面をベースに進めていければとの思いからです。会員皆様の協会への思い、オーストラリアについての随筆、自己紹介・趣味などを400字～500字にまとめて投稿して頂ければ有難いです。今回は2名の方から投稿して頂きました。

1) 築地雅樹様

日豪協会役員・監事の役職をお願いしています。

2) 大久保慎志様

今年度より日豪協会役員・理事をお願いしています。

「オーストラリア留学」

公認会計士・税理士 築地 雅樹

私は60歳を過ぎ、仕事も一段落した2009年にオーストラリアの大学院に単身、留学いたしました。といっても勉強というより、骨休めも兼ねて海外で生活するという事が目的でした。この留学は非常にいい経験だと思いましたが、もしお年を召されてから留学したいと思われる方は是非にそうされたいと思います。

留学するにあたって、先ず留学する国を選定しなくてははいけません。米国は仕事でよく行っており、あまり行きたいと思わなかったため、カナダかオーストラリアに絞りました。ただ、カナダは冬が寒そうなので、オーストラリアにしました。特に縁があったわけではありませんが、結果的に正解でした。

私はシドニー郊外南100kmほどにあるUniversity of Wollongongに入学しました。コースについては何せ、骨休めが目的でしたので、MBAだととても遊ぶ時間は確保できないと思い、大学院のMaster of Commerceを選びました。

大学には中国人が多いのには驚きました。(因みに日本人は1人もいませんでした。) 何人かの中国人やベトナム人と仲良くなり、プレゼンテーションや試験などで協力し、今も付き合いが続いています。そのうち1人は、日本に来て、自宅にも来てくれました。彼らは勉強に熱心で、私にとっても非常に刺激になりました。

学生生活はEssayの作成等、しんどい面もありましたが、それも含めて本当にエンジョイできました。オーストラリアの自然とのんびりしたLife Styleが気持ちを穏やかにさせてくれました。又、広くて自然の多いキャンパス、居心地のいい図書館は学生生活にうおいを与えてくれました。

場所もWollongongという田舎でも大都会でもない適度なところがよかったです。

もしAustralia留学について考えておられて何か聞きたい事があれば私の経験した範囲でお答えしますのでご連絡ください。



「日豪協会への想い～理事就任にあたり～」

オーストラリア・ニュージーランド銀行
大久保 慎志

私と日豪協会様とのご縁は、現在勤務する会社が法人会員となっていたことに始まります。

最初は、年末イベントの1参加者という薄い関係から始まり、いつしか協力会員とならせて頂き、セミナー部会等に参加させて頂くようになり、この度、理事を仰せつかるまでになりました。

正直、今の会社に入社するまでは、オーストラリアに対して特別な思いも関心もありませんでした。海外旅行と言っても、選択肢は、専ら北半球でした。今年の3月に、初めてシドニーとケアンズを訪れ、ようやく日豪親善を語る資格を得た気がしました。(たった1度の渡豪ですが。。。)

仕事柄、日豪に関する情報に触れる機会が多くなり、いつしか、海外と言えば、オーストラリア!と真っ先に思い浮かぶくらいにまで親近感が湧いてき

ております。

世界の住みたい都市ランキングで上位に何都市もランクインするオーストラリア。個人のお客様の関心も日に日に高まっております。また、国内依存のビジネスモデルから海外展開を考えた場合、まだ伸びしろのあるオセアニアは法人のお客様からも注目をされています。

そんな大好きで魅力のあるオーストラリア。これからも、微力ではございますが、日豪親善のための草の根活動推進に尽力したいと考えております。



オーストラリア耳より情報

豪州に駐在されました方々は、馴染み深いと推測しますが、就労ビザ(457) Temporary Work (Skilled) Visa (subclass 457) が変更になり、2018年3月から、Temporary Skill Shortage (TSS) visaとなります。2017年7月から、進出企業で年収96,400豪ドルの企業幹部にもEnglish Languageが Requirementとして課せられます。

オーストラリアは基本、移民国家のため、就労ビザの考え方は「原則、オーストラリア労働市場における人材を活用し、国内において見つけることができない人材を海外から採用する」というスタンスで、就労ビザのしくみが存在します。そのため、海外から派遣される人材とオーストラリア国内で採用される人材を給与面やさまざまな条件について公平に扱うことが期待されています。ビザは①スポンサーシップ②ノミネーション③ビザと3段階の審査ステップで構成され、三つの過程が終了し、はじめてビザ発給となります。

就労ビザを検討する上で、以下のような内容を明確にする必要があります。□誰が雇用主か?(誰が給与を支払うか?誰が雇用契約書を発行するか?) □オーストラリアで「就労」とはどのような定義か? □就労期間は? □就労する人の英語力は? IELTS overall 5.0 クリアできるか? □就労する人の職務経験は? 学歴は? 資格などは? ですが、未だ流動的な部分が有りますので、専門家に相談される事が必要ですがオーストラリアも変化しております。

(文責:坂本章理事)



最近のオーストラリア事情 第6回

大阪日豪協会会員でシドニー在住の永田朝子さんから身近なオーストラリアの話題をシリーズ形式でレポートして頂く企画です。 (広報部会)

シドニー在住 永田朝子
<http://www.asakoinsydney.com.au>

オーストラリアで人気のある素敵リゾート地「ヌーサ」をご紹介致しましょう！シドニーから飛行機で「サンシャイン・コースト」空港へ！シドニーとの時差は1時間。8年前に初めて「ヌーサ」を訪れ、運河とビーチの両方を持つ高級リゾート地サンシャイン・コーストの「隠れ家」といわれるその自然豊かな美しい「ヌーサ」に心が奪われました！

昨年はXmas～新年の3週間をその「ホリデー・ハウス」に滞在し、日本から駆けつけて下さった大阪日豪協会の木下瑤子さんとも一緒に、お陰さまで楽しいひと時♪を過ごすことが出来ました！

一緒に散策したメイン通りはヌーサ・ヘッズ (Noosa Heads) にあるヘイスティングス・ストリート (Hastings St)！この通りには優雅なブティックやホテル、レストラン&スタイリッシュなお店が並びます！

ヘイスティングス・ストリートから、ヌーサ国立公園の入り口まで行ける坂道の遊歩道があります。ヌーサ・メイン・ビーチと森を眺めながらのコースタル・トラック (Coastal Track) は、きちんと整備され歩きやすくなっています。この公園が人気なのは、野生のコアラが見られることです！

又、車でちょっとドライブすると山間の町モンティビル (Montville) というまるでヨーロッパの田舎へ潜り込んだような景色の町があります！アートギャラリーや手作りクラフト雑貨、贈り物やアンティークショップ、&オリジナルチョコレートの販売など、都市部では見つからないアイテムが勢揃いの「ヒンターランド」と総称される壮大な山々に彩られているサンシャイン・コーストの内陸部も見逃せない！

ビーチサイドの優雅さと自然がいっぱいの寛ぎが得られるリゾート地「ヌーサ」！その洗練されたフレンドリーで、のんびりした雰囲気是非味わって戴きたいものです！



ー イベントガイド ー

ー第35回ゴルフコンペー
 日時：2017年10月26日 (木)
 集合8：15 スタート9：01
 場所：三田ゴルフクラブ
 プレー費：12,000 (キャディー・昼食代含む)
 会費：2,500 (PR部会)

ー第90回 ハロー・マイト懇話会のご案内ー
 ＊「新・技のデパート 宇良関の今昔について」
 日時：2017年10月27日 (金)
 18：30～19：45
 会場：阪南大学 あべのハルカスキャンパス (あべのハルカス23階)
 講演：18：30～19：30 (開場18：00～)
 講師：石坪 昭宏氏 (関西学院大学相撲部総監督)

＊「相撲の文化と歴史」と「日本の食文化を考える」
 質疑応答：19：30～19：45
 参加費：会員・ビジター共 1700円 (弁当+お茶代1140円含)
 (セミナー部会)

ー第91回ハローマイト懇話会ー
 日時：11月24日 (金) 18：00～20：30
 場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス
 内容：①植村吉輝阪南大学准教授・メルボルン大学客員研究員による「最近のオーストラリア競争法違反事件」の講演会
 ②阪南大学の留学生9名によるオーストラリアでのインターシップ体験談 (セミナー部会)

ーその他の行事予定ー
 11月 文化交流部会 秋のイベント
 12月中旬 第28回クリスマスパーティ



在大阪オーストラリア総領事館よりお知らせ

オーストラリア大使館・総領事館主催
オーストラリア教育機関との個別相談会

日時：2017年10月10日（火）午後
会場：ツイン21MIDタワー会議室
（大阪市中央区城見2-1-61 最寄り駅：京橋）
対象：教育・留学界関係者

オーストラリア大使館・総領事館では、海外研修などの国際教育の導入・強化をめざす日本の教育機関および留学団体を対象に、個別相談会を開催します。世界大学ランキング100位内の名門大学をはじめ40校を超えるオーストラリアの教育機関に直接相談し、情報収集ができる機会です。語学研修をはじめ、ターム留学やスタディアブロードプログラムなどを通して、オーストラリア教育機関との新たなパートナーシップを築くことにご関心のある日本の教育・留学関係者のご参加をお待ちしております。

詳細は、近日中にオーストラリア貿易投資促進庁イベントページに掲載

(<https://www.austrade.gov.au/Local-Sites/Japan/Events>)

**追手門学院大学附属図書館
オーストラリア・ライブラリーからのお知らせ**

民族楽器ディジュリドゥのイベントを開催します。

日時：2017年11月4日（土）午後
（大学祭開催日）
場所：追手門学院大学茨木キャンパス内
（大阪府茨木市西安威2-1-15）
内容：●ワークショップ：「竹で作る民族楽器
ディジュリドゥ」
●コンサート：ディジュリドゥと
他民族楽器のセッション
●講演：ディジュリドゥ発祥の地や
アボリジナルアートについて

いずれも無料でご参加いただけます。
開始時間、開催場所などの詳細は未定です。決まり次第ホームページでお知らせいたします。

問い合わせ先：
追手門学院大学附属図書館オーストラリア・
ライブラリー
ホームページ <http://www.oullib.otemon.ac.jp/>
aus/
メール australia-lib@otemon.ac.jp

オーストラリア連邦概況

面積：769万2,024平方キロメートル（日本の約20倍、アラスカを除く米国とほぼ同じ）。
農地は全体の58%（日本は14.2%、米国は45.9%）

人口：約2,428万人（2016年IMF World Economic Outlook）

首都：キャンベラ（人口約39.3万人、2015年）
民族：アングロサクソン系等欧州系人が中心。
その他、中東系、アジア系、先住民など。

言語：英語
宗教：キリスト教（カトリック、英国教会）64%、
無宗教19%

政治体制：立憲君主制
元首：エリザベス二世女王（英国女王）。
但し、通常は連邦総督が王権代行。

議会：二院制
上院（定員76、任期6年）
下院（定員150、任期3年）

政府：首相 マルコム・ターンブル（自由党）
自由党を中心とする連立政権

内政事情：
①連邦議会においては自由党及び国民党からなる保守連合（現与党）と労働党が二大勢力として拮抗（二大政党による議院内閣制）。
②連邦の立法権限は、憲法により国防、外交、通商、租税、通貨、移民等の特定の事項に限定されており、その他は州の権限。
（出所）外務省、国際通貨基金（IMF）各種資料

－ 新会員募集中 －

大阪日豪協会へのご入会などに関する問い合わせは下記にご連絡下さい。

事務局：〒541-0048
大阪府中央区瓦町3-3-10
ニッケビル11F
電話・ファックス：06-6205-6618
E-mail：nichigo@herb.ocn.ne.jp
ホームページ：<http://osakanichigo.com/>

[大阪日豪協会への入会等に関する説明]

主な入会要項
①入会金は不要
②会費は会計年度毎に次の通り
法人会員 1口 8,000円（但し2口以上）
家族会員 6,000円（1家族3名まで、
1名追加500円）
個人会員 4,000円
学生会員 2,000円